

# 日置市 議会 だより

平成22年 第22号  
11月

## 9月定例会 主な内容

- 第4回定例会の内容…………… P 2
- 9月補正予算の主な事業…………… P 3
- 委員会審査報告（9月補正など）…… P 4
- 陳情請願／議会の動き…………… P 7
- 一般質問…………… P 8
- 委員会レポート！…………… P 15
- 議員と語る会／議会だよりの点訳…… P 18
- 振り込め詐欺防止キャンペーン…… P 19
- 傍聴席から・編集後記…………… P 20

〒899-2592 鹿児島県日置市伊集院町郡一丁目100番地  
TEL (099) 273-2111 / FAX (099) 273-3063  
<http://www.city.hioki.kagoshima.jp>



学生会の若さあふれる応援  
(東市来地域運動会)

# 9月補正予算の主な事業

## ☆地域づくり推進事業費☆

地区振興計画の実施  
**4,443万円**

内容：地域づくりの推進と地域の課題解決を行うため、26地区館から要望が出された個所の整備を行う。



地区振興計画に基づき整備中の昆沙門天参道（住吉地区）

## ☆介護基盤緊急整備特別対策事業費☆

介護施設の整備  
**7,875万円**

内容：小規模特別養護老人ホーム1カ所、認知症対応型高齢者グループホーム2カ所、小規模多機能型居宅介護事業所2カ所の設置に対する補助金の増額補正。

## ☆観光施設管理費☆

美山陶遊館の屋根改修  
**1,600万円**

内容：森林体験交流センター美山陶遊館の雨漏りに伴う屋根改修工事費の増額補正。

## ☆児童福祉費☆

児童扶養手当の増額  
**1,528万円**

内容：児童扶養手当の見込み増と父子世帯が新たに対象へ拡大したことによる増額補正。

## ☆塵芥処理費☆

クリーン・リサイクルセンターの補修工事  
**4,830万円**

内容：クリーン・リサイクルセンター焼却耐火物や溶融空気予熱器等の補修のための増額補正。

## ☆農業振興費☆

焼耐用<sup>こうじ</sup>麴米の単独助成  
**850万円**

内容：国の水田利活用自給力向上事業補助金に係る、焼耐用麴米の市単独助成分の増額補正。

## ☆住宅対策費☆

公共施設のアスベスト調査  
**252万円**

内容：市職員OBによる公共施設（1021棟）のアスベスト緊急調査のための増額補正。

# 課題解決に向けて

# 地域づくり推進事業費を増額補正

9月定例会を9月7日(火)から30日(木)まで24日間開催し、条例の改正や予算議案、議員からの発議議案など22件を可決。また、平成21年度の決算認定17件は、決算審査特別委員会を設置し、閉会中の継続審査としました。

### 議決された議案

#### 議員発議

#### 市長専決処分事項の指定

地方自治法に基づき、議会の委任による専決処分事項を指定する。

※専決処分の事項

①1件100万円以下の損害賠償請求額を定めることと、和解および調停に関すること。

②市営住宅の家賃等の請求、明け渡しの訴えの提起、和解および調停に関すること。

③支払督促の申立てに係る訴えの提起、和解および調停に関すること。

#### 《全員賛成》

#### 一部改正

#### 下水道条例

公共下水道(伊集院地域)の使用料を改定するため、

所要の改正と条文の整理を行う。

※改定内容

20㎡あたり月額2100円を、2620円に変更。

《反対討論》

市民の負担が増えることに反対。収入が増えない中、切り詰めた生活をしている。公共料金の値上げは、わずかであっても家計に響く。

《賛成討論》

下水道使用料の適正化について、国の指導があった。税金を財源とする一般会計からの繰出を前提にした経営から、使用料収入による汚水処理原価の回収を基本とする経営に転換すべき。

《賛成18・反対2で可決》

#### 火災予防条例

「対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火

気器具等の取り扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令」および「住宅防災機器の設置及び維持に関する条例の制定に関する基準を定める省令」の一部改正によるもの。

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

《全員賛成》

## ●一般会計・特別会計補正予算

△は、マイナス

会計名	補正額	補正後予算	採決の状況
一般会計(第5号)	6283万9千円	225億1304万3千円	全会一致で可決
一般会計(第6号)	3億294万2千円	228億1598万5千円	全会一致で可決
一般会計(第7号)	3180万2千円	228億4778万7千円	賛成15・反対6
国民健康保険	△5137万6千円	67億5760万7千円	全会一致で可決
老人保健医療	28万8千円	214万8千円	全会一致で可決
特別養護老人ホーム事業	2797万2千円	3億2961万円	全会一致で可決
公共下水道事業	△7万1千円	6億79万7千円	全会一致で可決
農業集落排水事業	74万8千円	3582万3千円	全会一致で可決
国民宿舎事業	79万6千円	2億5037万円	全会一致で可決
温泉給湯事業	189万3千円	677万1千円	全会一致で可決
公衆浴場事業	253万5千円	367万7千円	全会一致で可決
飲料水供給施設	既定の歳入予算の組替	52万3千円	全会一致で可決
住宅新築資金等貸付事業	既定の歳入予算の組替	408万8千円	全会一致で可決
介護保険	1億5770万6千円	47億3557万1千円	全会一致で可決

一般会計補正予算(第7号)は、アスベスト調査費に関して、修正案が議員より提出されましたが、採決の結果、原案のとおり可決されました。

# 議案審議の中身は？

## 常任委員会 審査報告

### 総務企画 常任委員会

委員長	池満 渉
副委員長	大園 貴文
委員	長野瑛や子
〃	柁 康博
〃	西園 典子
〃	中島 昭
〃	並松 安文
〃	門松 慶一

### 一般会計補正予算(第6号)

歳入歳出それぞれ3億294万円追加し、総額をそれぞれ228億1598万円にするもの。

歳入の主なもの、児童手当および子ども手当の増に伴い、地方特例交付金が487万円の増額、地方交付税1億8654万円の増額。一般寄付、指定寄付合わせて7件、263万円の増額。臨時財政対策債の発行可能額の確定に伴い、1億3040万円の減額など。

歳出の主なものは、市民歌CD1000枚の作成料、新たな難視聴地域7カ



改修が急がれる美山陶遊館

所の事業変更に伴う増額、地域づくり推進費4477万円の増額、扇尾地区の有線放送施設の老朽化に伴う地域コミュニティ無線放送システム整備費。

市の観光情報を発信するための観光協会へのホームページ開設委託料、美山陶遊館の屋根改修工事費の増額。

住宅用火災報知機の設置

義務化に対する啓発チラシ作成料と消防本部無線局の再免許申請に伴う機器点検作業手数料など。

テレビ放送のデジタル化について内容を知らない市民もいるが、今後どのように周知していくか。

まだ他人事のように

思っている人もいるとの情報もあり、各課十分連携し周知徹底していく。

地域づくり推進事業はソフト事業にも活用すべきではないか。

ほとんどの地区で実施された夏祭りは地区民総参加の取り組みで、一体感の醸成にも役立ち、ソフト事業の一部と理解している。

### 文教厚生 常任委員会

委員長	漆島 政人
副委員長	東福 泰則
委員	成田 浩
〃	花木 千鶴
〃	坂口 洋之
〃	山口 初美
〃	黒田 澄子

一般会計補正予算(第6号) 歳入の主なものは、児童手当の国庫負担金の509万円の増額、安心子ども基金事業費県補助金605万円、レセプト電算化に伴う国庫補助金743万円の増額補正である。

歳出の主なものは、グリーン・リサイクルセンター施設補修工事費、安心子ども基金事業による公立・私立保育所等へのAED設置費、里帰り出産する方への貸出用チャイルドシートの購入費、妊婦教室やいのちふれあい教室用の沐浴人形や妊娠シミュレーター等の購入費など。

教育費では、和田小・花田小の天窓落下防止網設置費や旧日吉町出身者からの指定寄付金による日吉地域内の図書購入費や中学校の

部活動補助費、13地区公民館のAED設置費、市指定文化財の「阿弥陀如来像三體」の修復に関する補助費など。

一部計上できなかったが、当初予算で保全計画に基づき予算要求したが、今回増額補正した。

里帰り出産者へのチャイルドシートの貸出期間はどうするのか。また、他に貸出制度はあるのか。

貸出期間は1カ月程度で、貸出は交通安全協会でも行っており、昨年度は89件の実績である。

「いのちふれあい教室」の実績はどうか。

20年度は中学2年生対象で14回の577人、小学5・6年生対象で4回の109人が参加している。

### 国民健康保険特別会計補正予算

歳入歳出それぞれ5137万円減額し、総額をそれぞれ67億5760万円にするもの。

歳入は、国庫支出金の療養給付費等負担金が交付決定されたことなどによる減額。

歳出は、介護納付金や老人保健拠出金の納付金等の

決定による減額など。

正予算

質疑の主なもの 予算に関する交付額決定までの流れとその時期、また、決定後の流れはどうなっているか。

当初予算では前年、前々年の実績等を考慮し計上する。その後、4月ごろ国・県等へ補助金交付申請を行い、5月ごろ交

付決定される。翌年2月に変更交付申請に基づく交付決定がなされ、6月に実績報告する。

老人保健医療特別会計補正予算

歳入歳出それぞれ28万円追加し、総額をそれぞれ214万円にするもの。

歳出は、21年度支払基金医療費交付金確定に伴う増額で、歳入は一般会計からの繰入金によるもの。

特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算

歳入歳出それぞれ2797万円追加し、総額をそれぞれ3億2961万円にするもの。

歳入の主なものは、前年度繰越額の決定に伴うものなど。

歳出は、増額分を基金へ積み立てるもの。

質疑の主なもの 入所者の年金の取り扱いの状況はどうか。

施設で年金の預金通帳を預かっているのは80人の入所者のうち、55人残りの25人は家族が管理している。

### 温泉給湯事業特別会計補正予算

歳入歳出それぞれ189万円追加し、総額をそれぞれ677万円にするもの。

歳入は、前年度繰越額の決定に伴うもの。

歳出は、増額分を基金へ積み立てるもの。

公衆浴場事業特別会計補正予算

歳入歳出それぞれ253万円追加し、総額をそれぞれ357万円にするもの。

歳入は、前年度繰越額が決定に伴うものと、事業者の倒産に伴う指定管理者納付金滞納繰越金の計上によるもの。

歳出は、予備費と基金へ積み立てるもの。

質疑の主なもの 滞納額の納付見込みはどうか。

今後、管財人と正式に協議することになるが、今の状況では他にも債権があり、公租公課分が優先されることから納付見込みは極めて低い。

### 介護保険特別会計補正予算

歳入歳出それぞれ1億5770万円追加し、総額をそれぞれ47億3557万円にするもの。

歳入の主なものは、介護給付費負担金や国からの調整交付金、介護基盤緊急整備等臨時特例交付金、介護給付費等繰越金など。

歳出の主なものは、介護保険事業計画で予定されていた施設整備で、今回3事業所が追加内示されたことに伴うものや前年度清算に伴う精算返納金など。

質疑の主なもの 介護保険事業で計画していた施設整備が、追加内示も含め多く整備されるが、介護保険事業の運営と介護保険料は、今後、どう推移していくことが予想されるか。

施設整備に加え高齢化を考慮し、安定した事業運営を進めていくためには、具体的な金額ははっきりしないが、いくらかの保険料値上げになるのではと考える。

### 産業建設 常任委員会

委員長	上園 哲生
副委員長	出水賢太郎
委員	宇田 栄
〃	佐藤 彰矩
〃	松尾 公裕
〃	田畑 純二
〃	田代 吉勝

一般会計補正予算(第6号) 歳入の主なものは、農地災害復旧費分担金、県単補助治山事業分担金、県補助金、災害復旧費県補助金、市債など。

歳出の主なものは、農林水産業費で、水田利活用自給力向上事業補助金、共生協働のむらづくり支援事業補助金の増、口蹄疫の影響による共進会等の中止に伴う減、農村災害対策整備事業計画書作成業務委託費、農道等の維持補修等に対する重機借上料・原材料費、県単補助治山事業工事請負費など。

土木費で、道路維持費、道路新設改良費、土地区画整理事業公有財産購入費、特殊地下壕対策事業費、住宅管理費など。

災害復旧費で、豪雨によ



落下防止網を設置する花田小学校の天窓

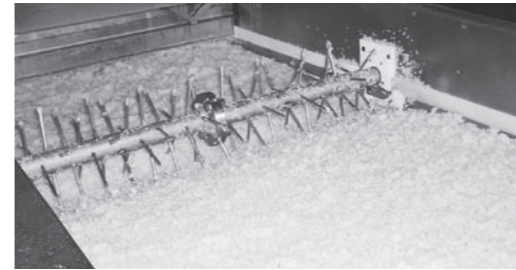
## 請願書・陳情書はこうなりました！

9月定例会で審議された皆さまからの請願書・陳情書の審議結果は次のとおりです。

請願書・陳情書					
件名	提出者	紹介議員	付託先	結果	意見書提出先
次期定数改善計画の実施と義務教育費国庫負担制度の堅持に関する請願書	山下 博司	坂口 洋之	文教厚生 常任委員会	採 択	内閣総理大臣 文部科学大臣 総務大臣 財務大臣 衆・参議院議長
自主共済制度の保険業法適用除外を求める意見書採択の請願書	串木野日置民主商 工会 綾田民樹	山口 初美	総務企画 常任委員会	継続審査	
子ども手当の廃止を求める意見書の提出に関する陳情書	日本の子供の未来 を・守る会 馬込 和子		文教厚生 常任委員会	審議未了	

## 議会の動き

月日	行事等	月日	行事等
8/20	全員協議会	9/27	議会運営委員会
	文教厚生常任委員会・所管事務調査(クリーン・リサイクルセンター)	9/30	全員協議会
8/23 8/25	文教厚生常任委員会・行政視察 (宮城県仙台市、宮城県名取市、栃木県佐野市)		第4回定例会(最終本会議)
		10/ 5	広報編集委員会
8/29	日置市総合防災訓練	10/ 7	行政視察来庁(長崎市議会より)
8/30	日置南学校給食センター落成式	10/ 8	総務企画常任委員会・所管事務調査(市内)
8/31	議会運営委員会	10/13	決算審査特別委員会
9/ 2	広報編集委員会・議会広報研修会(鹿児島市)	10/14	決算審査特別委員会
9/ 7	全員協議会	10/18	決算審査特別委員会
	第4回定例会(第1本会議)	10/19	決算審査特別委員会
9/ 8	常任委員会(総務企画・文教厚生)	10/20	決算審査特別委員会
9/ 9	常任委員会(総務企画・文教厚生・産業建設)	10/21	議員懇談会・議員研修会
9/10	産業建設常任委員会・所管事務調査(市内)		広報編集委員会
9/17	第4回定例会(第2本会議・一般質問)		行政視察来庁(南九州市議会より)
9/21	第4回定例会(第3本会議・一般質問)	10/25	決算審査特別委員会
9/22	第4回定例会(第4本会議・一般質問)		行政視察来庁(大阪府寝屋川市議会より)
		全員協議会	10/26
9/24	総務企画常任委員会・所管事務調査(市内)	10/28	行政視察来庁(鹿屋市議会より)



地元産麴用米を使った焼酎づくり

**問** 米戸別所得補償制度によって、米の作付面積は前年度と比べてどうか。

**答** 本市のセリ市は、鹿児島県本土で一番初めに再開されたので、購買者が様子見をしているようであった。また、購買者が大勢集まる大きな市場ではなく、今回は肥育適齢期を過ぎた牛だったので、適正価格にならないかかったのではと考えている。

**問** 特殊地下壕対策費で、伊集院地域は4カ所で35万円の計上に対し、日吉地域は1カ所で260万

**問** 質疑の主なもの

**問** 農業委員会の農地制度実施円滑化事業の具体的な内容は。

**答** 昨年の改正農地法施行に伴い、農地の権利異動規制の見直しがされる一方、農地の適正利用を担保するための措置が位置付けられた。これまでの入口規制(許認可)に加え、出口規制(事後監視)にも重点を置いて対応することが求められている。

**問** 米戸別所得補償制度によって、米の作付面積は前年度と比べてどうか。

**答** また、主食用米は増加したのか。加工用米の動きはどうか。

**答** 主食用米の作付面積は県から市に1013haの配分があった。主食用米の作付けは約991haで増えていない。主食用米・加工用米・飼料用米等すべての米の作付けは1104haであった。麴用米を含む加工用米は前年度36haから今年度112haに増加した。

**問** 口蹄疫の影響で、本市の子牛セリ市では価格が下がっていたが、都城市では1割ぐらいい上がった。理由をどう考えているか。

**答** 本市のセリ市は、鹿児島県本土で一番初めに再開されたので、購買者が様子見をしているようであった。また、購買者が大勢集まる大きな市場ではなく、今回は肥育適齢期を過ぎた牛だったので、適正価格にならないかかったのではと考えている。

**問** 日吉地域の地下壕は陥没しており、すべてを発泡モルタルで埋め戻す工事である。この事業は2カ年延長されて23年度までとなったので、残されているものを再調査し



再開された子牛セリ市(鹿児島中央家畜市場)

**答** 公営住宅の老朽化に伴う補修でシロアリ駆除があるが、対応は申請があった時に、部分的に対策を講じているのか。調査は全体的にしているのか。

**問** 公営住宅の老朽化に伴う補修でシロアリ駆除があるが、対応は申請があった時に、部分的に対策を講じているのか。調査は全体的にしているのか。

**問** 今回の発生し、要望があったので駆除を行うが、古い住宅にはシロアリの発生があるので、調査を検討したい。

**問** 小規模な災害への対策はどうか。

**答** 大規模で国庫補助の対象となる災害は先に補正し可決いただいた。補助対象外の小規模な災害は、維持修繕料で対応した。件数は道路64件、河川17件の計81件。今回は維持修繕料で対応できない部分を計上した。

**問** 公共下水道事業特別会計補正予算

歳入歳出それぞれ7万円減額し、総額をそれぞれ6億79万円にするもの。

歳入は、前年度繰越額の決定に伴うもの。

歳出は、人件費の減額に伴うものなど。

**計** 農業集落排水事業特別会計

歳入歳出それぞれ74万円追加し、総額をそれぞれ3582万円にするもの。

歳入は、前年度繰越額の決定に伴うもの。

歳出は、供用開始後12年

経過した処理場の修繕料と予備費の増額に伴うもの。

**飲料水供給施設特別会計補正予算**

歳入歳出予算の総額は、既定のとおりで、それぞれ52万円とするもの。

歳入は、前年度繰越額の決定により、一般会計繰入金との組み替えに伴うもので、歳出は既定のとおり。

**住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算**

歳入歳出予算の総額は既定のとおりで、それぞれ408万円とするもの。

歳入は、前年度繰越額の決定により、一般会計繰入金との組み替えに伴うもので、歳出は既定のとおり。

# 一般質問

## これから どうする！ 日置市



9月定例会では12名の議員が登壇し、日置市の未来を見据え質問を行いました。

より良い市政を目指して



たばた 純二  
議員

**質問1** 日置市診療所の今後の見通しは

①経営方針と医師確保の見通しは。  
②経営状況はどうか。  
③診療所運営審議会等の目的、委員数、今後の予定等は。  
④市民からの評価をどう受け止め、接遇向上等のための具体策は。

**答1** 診療所の今後の在り方も早急に決めるべきではないかと、公募中。

①今一番の問題は医師確保で、鹿大医局と打合わせながら、公募中。  
②この3・4カ月の推移でも経営が厳しい。患者数は1日平均52人、入院利用率は70%で、当初見込みより少ない。  
③各種団体から4人、学識経験者3人の計7人。決算認定と状況報告等を行う。次は11月開催。  
④4月1回、接遇向上委員会を開催している。

**質問2** 防災行政無線の市内統一と新システムの導入は

①防災行政無線整備検討委員会の目的と委員数、今後の予定は。  
②全市同時放送の方法と予定は。  
③現在の放送の基準は何で、内容等は誰が決定しているのか。  
④市民からの要望はどんなものがあるか。

**答2** 現在検討中で、基本計画を作っていくきたい (市長)



4月1日より開所している日置市診療所

①統合の方法を検討する。委員は12人。早い時期に開催したい。  
②デジタル波を利用し、本庁を親局として一斉放送できる設備に更新する予定。  
③防災行政無線地域通報運用管理規定により、総務課長・地域振興課長が許可。  
④戸別受信機が聞こえないとの苦情が多い。

**質問3** 改正過疎法をどう活かすか

①意義と課題をどう考えて生かすか。  
②森林業を中山間地振興の中心としてはどうか。  
③本市の農山村再生へのビジョンは。  
**答3** 本市でもハード・ソフト両分野で計画書を作成中 (市長)

①議会の審議をいただき検討する。  
②森林組合等と連携し、積極的に支援したい。  
③地域資源や立地条件を生かし再生につなげる。



いけみつ わたる  
議員

**質問1** 合併後5年が経過。行財政改革プランの進捗よく状況は

①現在の本市の財政状況をどのように見ているか。  
②本庁・支所の組織機構の見直し、職員数適正化ならびに民間研修は進んでいるか。職員削減をグループ制でカバーできているか。  
③予算削減の中、安価で優良な公共物の構築をどのように進め、業者の育成を図るか。  
④職員の削減で支所地域の疲弊を心配する声もあるが、どのように取り組むか。  
⑤約8億円の滞納整理をどうするか。  
⑥市有財産の処分と、赤線・青線の活用処分・売却はどうか。  
⑦適正予算規模200億円は可能か。市債残高約380億円の縮減と改革プランは、期限を切って目指すべきでは。

**答1** 課の再編、職員の削減などで努力している (市長)

①厳しいことは承知しているが、最低限の運営はできている。  
②50課を36課に再編、職員も90人削減している。連携を持ち自立型職員の育成に更に努力する。  
③工事成績評定の結果などを公平な指名・入札に生かし、優良な公共物の獲得に尽力する。  
④26地区公民館を充実し共生協働を進め、活性化を図りたい。



土木建設課と農林水産課が統合された支所産業建設課 (写真は東市来支所)



やまぐち はつみ  
議員

**質問1** 国保税の資産割は県内の市の中で一番高い。下げるべきでは

保険証はあっても病院に行けない例や通院回数減らしたり、先延ばしにしたリ、治療を中断する人もいる。また、子どもにも「病気をするなよ。けがするなよ。」と言いつけて聞かしている人もいる。市民の切ない声が市長には届いているか。「食費などを切りつめて高い国保税を払った後は、3割負担の医療費が払えず病院にも行けない。一体何のための国保か。」という声が寄せられている。また、資産割はゼロの自治体もある中で、本市は43%と一番高いが、引き下げるべきではないか。

**答1** 医療費の伸びや、県内の動向を見ながら今後検討したい (市長)

相談は市役所にも寄せられている。福祉課と連携を取り、対応している。資産割については、医療費の伸びや県内の動向を見ながら、今後検討していきたい。  
**質問2** 中学校卒業まで、医療費の無料化を実施するべきではないか

薩摩川内市や出水市では、中学校卒業まで医療費が無料になった。南九州市では9歳まで無料。さつま町では、今年から中学校卒業までの入院費無料化が実現した。本市でも実施すべきではないか。  
**答2** 就学前まで無料化したばかり。中学校卒業まで無料にすれば皆が喜ぶの



分納相談の様子 (写真はイメージです)

**答3** 公契約条例をつくる考えはない (市長)

なるべく正社員の雇用を願っている。

はわかつてはいるが、財源が必要であり、難しい状況である。

**質問3** 地域経済活性化のため、雇用を守るルールづくりが必要ではないか

公共工事の落札価格で70%台が増えており、中には50〜40%台もある。競争が激化し、ダンピング(採算割れ)入札まですられるようになってきている。その結果、働く人の賃金にシワ寄せがいき、まともな暮らしはおろか、生命も守れない。税金を使った事業が「働く貧困層(ワーキングプア)」を大量に生み出すという異常な事態は問題である。公契約条例を制定するべきではないか。また、雇用は正社員が当たり前のルールづくりを進めるべきではないか。



でみずけんたろう  
**出水賢太郎**  
議員

**質問1** 県道の整備の遅れについて、市の対応はどうか

市内の県道整備の状況はどうか。特に通行量が多く、通学路でもある県道伊集院日吉線の郡地区と麦生田地区の未整備箇所について、地域住民は早期整備を望んでいるが、計画は遅れている。市長は、県に対し強く要望すべきではないか。

**答1** 何度も県に要望しているが、厳しい状況にある (市長)

市内の県道19路線の整備率は74.9%、東市来と吹上が遅れている。県の財政は厳しく、道路予算が15%ほど削減され、日置市の路線は優先順位でも下位であり、整備促進は厳しい状況である。郡地区は、事業費に占める建物補償の割合が高く、平成23年度以降は執行未定である。幅員の見直しなどで事業費を圧縮し、事業継続を模索している。機会あるごとに、県に要望する。麦生田地区は事業費3億円で、今年度中に用地買収を終えて一部着工、24年度に完了する。

**質問2** 地区振興計画の今後の展開はどうか

来年度は地区振興計画の最終年度だが、生活道路の整備など、課題の積み残しはないか。今後の展開をどう図るか。

**答2** 次期計画策定へ向け、財源と基準を明確化する (市長)

来年度は今年度同様、地域の課題解決へ向けた事業展開を図る。また、次期計

画(平成24~26年度)策定へ向け、財源と基準を明確化し、各地区館単位で事業の洗い出しをしていただきたい。

**質問3** 河川汚濁や空き地管理など、環境保全への対応は十分か

神之川や野田川の汚濁や悪臭への対応、つじヶ丘団地の調整池や空き地の維持管理の問題など、環境保全条例に基づいて、市民の声にどう対応しているか。

**答3** 市民からの苦情に対応できるよ

う、新たな方策を考える (市長)

神之川水系5カ所で、年2回水質検査を実施。市民からの苦情で8月に4回調査したが、汚濁や悪臭は確認できなかった。継続して監視していく。つじヶ丘の調整池は民間業者2社の所有である。規模が大きく、自治会の清掃では限界があり、維持管理の要望書も出ている。調整池は行政が管理すべきとの国の指導もあるので、対応を考えたい。空き地の管理は所有者が行うべき。条例に罰則規定がないので、環境保全審議会に諮り、新たな対応を検討したい。



県道 伊集院日吉線 (郡地区)



おおのの たかひみ  
**大園 貴文**  
議員

**質問1** 総合計画前期の課題と後期対策は

前期では魅力ある政策が打ち出せなかったため、均衡ある発展どころか過疎地域(吹上・日吉・東市来)については、定住促進が図れず、急激な過疎化による衰退が危ぶまれる結果となった。後期対策では過疎法に準ずる手厚い政策で、IターンやUターン、後継者育成等、農村に住みたいと思える政策を進めるべきではないか。

**答1** 地域の特性を活かし定住促進につなげたい (市長)

前期計画は、旧町から引き継がれた政策を実施してきた。後期計画は、4地域の特性を活かしながら一体的な発展を目指し、公営住宅建設等により過疎化に歯止めをかけた。

**質問2** 地域の資源を活かした魅力ある地域づくりを進めるべきでは

伊集院駅の整備は、本市の顔として地域をつなぐ重要な交通機関であり、新幹線開通に合わせ観光の拠点とすべきである。周遊観光のできる交通網を確立し、各地域の資源を活かされる施策とすべきではないか。

過疎が進む農村部では、過疎法の延長が平成28年まで確定した。また、規制緩和により農業に企業の参入が可能となったことから、地域の基幹産業を支える新しい取り組みで、農村に雇用を生み出し、



砂の堆積に苦しむ吹上漁港

農山村を活性化すべきではないか。

**答2** 伊集院駅の整備は、地域交通の重要な課題対策である (市長)

過疎高齢化が進む農村部においては、生活をいかに守るかが課題である。現在、農地等の荒廃対策に、中山間や農地・水・環境の事業を導入しているが、今後はさらに集落営農も検討していきたい。

**質問3** 吹上浜の観光と水産業の振興を図れ

日本三大砂丘吹上浜は最大の観光資源である。拉致のイメージを一掃し、魅力ある吹上浜にするために、自然エネルギーを活用した街灯設置を国に陳情できないか。また、飛砂の堆積に苦しむ入来浜漁港改善に取り組むべきではないか。

**答3** 今後、協議・検討を図りたい (市長)

自然環境に配慮した中で、薩摩半島観光振興審議会において協議したい。漁港の課題については、検討を進めたい。



さかぐち ひろゆき  
**坂口 洋之**  
議員

**質問1** 正しい納税意識の向上と特別滞納整理課の成果と課題は

税金の滞納額が年々増加している。経済的に支払えない状況がある一方、納税意識の低下や経済的にも支払い能力がありながらの滞納もある。市民の納税意識はどうか。特別滞納整理課が創設された。課題と成果は何か。納税意識を高める取り組みをどのように考えるか。

**答1** 市民税の徴収率が98%、納税推進の市をつくりたい (市長)

県内の納税率の状況では高い位置にある。経済的に厳しい場合には、納税相談等で親切・丁寧に対応したい。啓発については、出前講座や租税教室等で市民への納税意識を高める取り組みをしたい。特別滞納整理課が中心となり、各課と連携しながら状況把握や債権管理のシステムづくりをしている。

**質問2** 不納欠損の状況と実態把握はどうか

納税意識に欠けての滞納など、さまざまな理由で時効になった税金・保険税等の状況はどうか。厳しい状況であっても納税意識の高い市民は多い。簡単に不納欠損させない取り組みをどのように考えるか。



子ども支援センター

**答2** 時効になった不納欠損額が昨年度で6675万円ある (市長)

生活保護の申請や会社の倒産、行方不明、どうしても納税に応じない等、理由はさまざまである。納税相談に応じれば、そのケースにあった対応ができる。督促状や裁判所の強制執行等、いろんな手段を考えていきたい。

**質問3** 児童虐待や育児放棄の本市の状況は。市民への啓発活動の充実を

全国の児童虐待の相談件数は、昨年度で4万4千件と増加している。本市の21年度の状況はどうか。過去の本市の虐待認定件数と対応はどうかであったのか。児童虐待や育児放棄があっても、連絡先を知らない市民もいる。

**答3** 21年度で7件の相談があり、2件が児童虐待と認定 (市長)

子ども支援センターが相談対応し、各機関連携しながら解決する。11月に啓発ポスターを掲示する。学校・地域・行政で、子育てしやすい環境をつくっていく。



はなき ちづる  
**花木 千鶴**  
議員

**質問1** 開発条例を制定すべきではないか

妙円寺団地のサブセンター予定地にマンションが建設されようとしている。住民説明無しの開発に、近隣住民は困惑している。公社や市は法の範囲で承認しているが、住民は不信感を抱いている。妙円寺団地の開発ばかりでなく、市内全域の開発問題にも影響する。市として今回の問題をどのように捉えているか。また、住民説明会の必要を盛り込む開発条例を制定すべきではないか。

**答1** 土地利用対策要綱を精査する (市長)

開発承認の際、開発行為や工事内容を住民に周知する等、7項目の遵守事項を盛り込んであったため、説明会を開催するよう指導した。今後は、地域住民の不信感をまねかぬように、要綱の内容を精査し、徹底化を図る。

**質問2** 執行業務管理は徹底しているか

行政は市民の大事な税金を無駄なく有効に使い、限られた財源を現在と将来のために活かさなければならぬが、役割は果たしているか。合併後に発生した多くの不祥事の総括と改善策はどうか。支所ではグループ制の形態をとっているというが、664万円もの未執行問題がどうして発生したか。



江口浜荘の解体工事

市民病院の解体設計書に、平成17年度の調査で存在が分かっていたアスベストの処理費が計上されなかったのはなぜか。

**答2** 公務意識や専門性向上に努める (市長)

多くの不祥事で市民の信頼を損ねてしまい、遺憾に思う。原因究明と研修などを行った。業務配分が未熟で執行計画が甘かった。今後、厳格な執行体制に努める。アスベストへの認知が甘く、チェック機能の欠陥があった。

認識不足で的確な指示ができず、危機管理不足によって同様の問題が発生した。職員の職務執行能力を上げないと行政水準を保てないので、研修を強化する。





くろだ すみこ  
黒田 澄子  
議員

**問1** 「非核平和宣言」都市として5年目に入る本市の取り組みを伺う

本年、終戦65年を迎え各地で平和の集いも開催された。広島平和祈念式典には、初めて原爆投下国アメリカの駐日大使や国連事務総長の参加があり、話題となった。本市も各地で空襲に遭っており、次世代へ伝えるべきであるが、今後の取り組みを伺う。

**答1** 看板は立ててあるが、特別な取り組みはないため今後検討（市長）

唯一の被爆国として、広島、長崎の惨禍を繰り返してはならない。民間と協働して啓発活動を検討する。

**問2** 女性特有がん検診無料クーポン事業は来年度も行うか

女性特有がん検診無料クーポン事業は、5歳刻みの年齢の女性が対象のため、本市では来年度も行うべきだが、予定はあるか。また、子宮けいがんワクチンの助成を国も検討しているが、本市はどうか。

**答2** 女性特有がん検診無料クーポン事業は来年度も実施予定（市長）

無料クーポン事業は、がん検診率アップに大きな成果があった。来年度も予定している。子宮けいがんワクチンの助成は、高額なため、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンなど、順を追って検討。

**問3** 地区振興計画の均等割額は人口比で段階的な額に変更すべきでは

地区振興計画の均等割額は、本年度26地区で人口差に関係なく、一律（伊集院地区は2地区分）となっているが、基準がない。公平を期するために検討すべきでは。

**答3** 過疎対策としての配分になっている。24年度以降は再検討する（市長）

過疎対策として、今年度は均等割額を55%としており、面積比・人口比を各20%ずつ導入している。23年度まではこのまましていく。24年度以降は再検討する。

**問4** 介護予防のための介護ボランティア事業に、本市も取り組みはないか

6月議会に続き再度質問する。65歳以上の高齢者の介護予防のために、ポイント制度のある介護ボランティア事業に取り組めないか。

**答4** 今後、先進地にも伺い、本市でも元気な高齢者が地域に貢献できるように取り組みを、今後検討していく。



乳がん撲滅のピンクリボンのツリー

# 委員会レポート

## ～各委員会の活動記録～

### 決算審査特別委員会を設置

平成21年度の日置市の決算を審査するため、地方自治法第110条および第233条に基づき、決算審査特別委員会を設置した。

目的は、歳入の確保がしっかりなされているか、歳出が適正に執行されているかなどを、決算書や補足説明資料に基づいて審査し、住民に代わってその成果を評価するものである。

そして、決算年度における財政運営が適正であったか、その計画性・弾力性・積極性を総合的に判断し、議会として年度の財政運営の改善と健全化に役立てよう、慎重な審議を行う。

審査結果は12月議会で報告され、本会で決算認定の採決を行う予定である。

委員長	松尾 公裕
副委員長	大園 貴文
委員	長野 瑳 子
	並松 安文
	花木 千鶴
	上園 哲生
	出水 賢太郎
	東福 泰則
	黒田 澄子



12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月
12月定例議会で報告・採決						6月定例議会	出納整理期間 (22年3月31日)	平成21年度決算
			9月定例議会に上程 決算審査特別委員会による審査		監査委員による決算審査			

### 文教厚生所管事務調査

5月21日及び8月20日にクリーン・リサイクルセンターに関する現状調査を行った。

#### 【調査内容】

ごみ焼却・溶融炉施設の予防保全計画とその実施状況の調査、また、自然ごみのパッケージ作業と保管作業の実態調査。

#### 【調査箇所】

クリーン・リサイクルセンター及び関連事業所。

#### 【提言事項】

①徹底したごみの分別  
可燃ごみに混入物があると燃焼室の温度が上昇し過ぎ、それを抑制するため運転時間を長くするので処理コストが上がる。また、有害ガスの発生により炉内の損傷の進行がはやくなり、また、処理薬品費も増大する。

資源ごみも不適物混入があると破砕機等が損傷し修理費の増大につながる。したがって、住民に対し広報や研修等でごみ分別の重要性について徹底した意識啓発を促していくべきである。



クリーン・リサイクルセンターの焼却炉の中を調査

②「資源ごみ」搬出までの在り方  
資源ごみのリサイクル方法は、業者委託せずに直営方式で効率的な運営を実施している例もある。今後はより効果的な方策を探り、さまざまな選択肢を検討すべきである。

③メンテナンスの在り方  
施設は12年経過しており、今後の保守管理は修理個所の増加や大規模化が予想されるので、年次の補修計画を示して、計画的な予算化をすべきである。

④溶融スラッグの利用拡大  
年間約600トン出る溶融スラッグが、現在5〜6千トン残留している。1トン300円で販売しているが、無料化して民間で利用策を調査してもらうことも必要ではないか。

⑤職員研修の充実化  
日々の技術進歩や専門的な知識がさらに求められる職場であるので、若い職員をはじめ定期的な高度研修が必要ではないか。

⑥運営の在り方  
廃棄物処理に関する長期ビジョンを明確にし、効率的な運営をされたい。



## 産業建設所管事務調査

7月21日および9月10日に、豪雨災害の被害状況調査と、公共施設のアスベストの現状と課題について調査を行った。

### 《災害調査》

#### 《調査箇所》

飯牟礼川（伊集院）、田代水路・美山神之川線（東市来）、小吹農道（日吉）、野首原農道・アグリサポート吹上（吹上）。

### 《委員の意見》

野首原農道は再度災害が起ころぬよう、丈夫な工法を取り入れ、水路と側溝の管理を指導されたい。

飯牟礼川は災害測量の境界を確定し、地権者の理解を求めるべきである。

### 《アスベスト調査関係》

#### 《これまでの経緯》

平成17年8月、県より公共施設のアスベスト使用調査の依頼があり、各担当課と建築技師の職員が、設計図書や目視による調査を行ったが、成分分析での結果判明は12件であった。

20年6月の法改正後は、公営住宅のみ検査してお

り、他の施設は実施していない。

市民病院の解体では、認識不足から、解体設計仕様書には、アスベストの事項は記載していなかった。

江口浜荘の解体では、仕様書にアスベスト調査を記したが、設計業者はアスベスト調査診断士による綿密な調査は行わなかった。

「両施設とも、解体業者の事前調査により、アスベストの含有が判明し、新たに除去工事を行った。」

### 《今後の対応について》

今後の建物解体は、事前アスベスト調査診断士による調査を行い、含有が判明すれば、除去後に解体工事を発注する。

また、建築士の資格を持つ市職員OBを活用し、学校など緊急性が高い施設から優先して調査を実施する。

### 《委員会の提言》

①責任所在の明確化  
アスベストの知識、設計図書の管理等、全職員が情報共有できる体制をつくる。



江口浜荘の解体現場を調査

### ②職員研修の充実

所管課が各施設を管理しており、財政負担を軽減するために、職員の能力向上に努めるべきである。

### ③入札仕様書の明確な指示

仕様書で調査方法を明示し、報告書では根拠を示して、チェックしていく。

### ④指名推薦委員会のチェック機能の高度化

不完全な仕事にはペナルティーを科すことも検討し、業者には緊張感を持って入札に臨んでもらいたい。

## 総務企画行政視察

平成22年7月7日～9日

### 《地域FMを活用した行政情報の発信事業》

#### 《委員会の意見》

茨城県鹿嶋市  
地域FM放送は、広報紙や回覧版といった紙を媒体とする方法との複合性、または、それからの脱却も視野に入れれば、有効な手段の一つである。緊急時の防災情報などの提供もできるが、利用状況は様々であり、限界がある。多大なランニングコストも必要になるので、本市でFMを検討する場合は慎重を期されたい。

### 《総合防災無線の運営とMCA無線の活用》

#### 《委員会の意見》

宮城県栗原市  
総合防災行政無線の整備計画は、本市の地理的特性やそれぞれの地域の事業も十分考慮し、全域に張り巡らせた光ケーブルも活用しながら、これまでの委員会調査報告なども考慮し、検討されたい。また、課題と利用目的を明確にし、老朽

化した施設の整備を急がれたい。

### 《観光ボランティアの活動状況について》

#### 《委員会の意見》

岩手県平泉町  
観光ボランティアの活動



鹿嶋市の地域FM局で説明を受ける

\* MCA無線…複数の無線局が複数の無線チャンネルを共同使用することで、電波帯域を有効利用する。

## 文教厚生行政視察

平成22年8月23日～25日

### 《環境ブックの取り組み》

国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所

#### 《概要》

仙台湾南部の砂浜海岸は砂浜の浸食が進行しており、12年度に環境・経済性・生態系への影響に配慮したヘッドランドと養浜を合わせた海岸整備に着手した。

また、子どもたちの環境意識を高めるため、仙台湾南部海岸と周辺地域を学習フィールドとして活用した環境ブックを作成した。

### 《委員会のまとめ》

日置市は、白砂青松の日本三大砂丘をはじめ、多くの自然に恵まれている。しかし、海岸の浸食や自然環境に影響が出てきている。

教育委員会では、今年度より子どもたちの体験的な環境教育の取り組みとして、環境ブックの作成がスタートした。「仙台湾南部環境ブック」は、すでに完成し、学校教育に取り入れられ、活用されていた。本市でも参考とされたい。

### 《医療費の抑制対策》

宮城県名取市

#### 《概要》

医療費抑制のため、医療機関、保健所、社協、ホームヘルプ協会等と連携し、在宅医療の推進を行っている。また、糖尿病予防に力を入れており、20年度からクレアチニン検査を独自で行い、慢性腎臓病検査ガイドドを実施している。

さらに、受診率を高めるために、夜間説明会の実施や対象者全員への受診票配布で、いつでも受診できる体制をとっている。

### 《委員会のまとめ》

本市と名取市を比較すると、医療費高騰の要因やその抑制策について、ほぼ同じ印象を受けた。

医療費抑制への共通課題は、被保険者の健康管理に対する意識ではないか。本市でも、どう意識改革を図っていくか、あらゆる角度からの

検討が必要である。



仙台河川国道事務所の説明を受ける

検討が必要である。

### 《病院・介護施設の一体的な指定管理者制度》

栃木県佐野市民病院

#### 《概要》

平成20年10月より、指定管理者制度へ移行している。

### 《委員会のまとめ》

佐野市民病院は指定管理者制度に移行後、院長のリーダーシップのもと、黒字経営に転じた。本市の診療所経営の参考になった。

## 産業建設行政視察

平成22年7月26日～28日

### 《中山間地の耕作放棄地対策としてのにんにく生産》

山梨県都留市

#### 《概要》

都留市は農地の80%が中山間地で専業農家は1件もない。過疎化や耕作放棄地の増大が危ぶまれる中、平成17年度に「曾根にんにく生産組合」を設立し、にんにくの生産を行い、地域の活性化に取り組んでいる。また、耕作放棄地を地元の建設業者と連携して解消し、面積拡大に取り組んでいる。

### 《委員の意見》

生産組合長の朝田氏の情熱で、地域の方や行政を巻き込み、地域の活性化に取り組んでいる姿に感銘を受けた。

また、農作業体験等の話だけでは後継者は育たず、農業で成功している姿を見ることが一番だという思いで活動していた。頑張る人への的確な行政支援や補助事業がよく活かされていると感じた。



にんにく生産に励む組合の皆さん

### 《委員の意見》

市の新しい顔となる駅というコンセプトで、一体感を目指した駅周辺整備事業である。電線等の地中化により安心安全な歩道整備が一感がある。

甲斐市の場合、区画整理等土地買収も含めて約95億円の事業費であるが、伊集院駅周辺整備事業を進める上で、財政上どこまで必要かささまざまな観点からのアドバイスを受けた。

## 伊集院地域女性団体 「議員と語る会」開かれる!

8月9日、伊集院地域各種女性団体連合会の主催による「議員と語る会」が初めて開催されました。会員約50人と伊集院地域の議員9人が参加しました。

- ・農村加工センターの使用について
  - ・民生委員の定数について
  - ・高齢者クラブのいきいき活動について
- なお、11月9日には東市来地域、11月12日には吹上地域において、地域女性団体の「議員と語る会」の開催が予定されています。



- ・河川の汚濁・悪臭について
  - ・神之川の河川改修について
  - ・生ごみの減量について
  - ・地上デジタル放送移行の対応について
  - ・男女共同参画社会の実現について
- 今回の語る会では、各議員が市政報告とあいさつを行った後、あらかじめ各種女性団体から質問を受けていた13項目について、市当局との協議内容を含めて、議員が説明しました。また、皆さんから生活に関するさまざまな意見や身近な質問などが出され、活発な意見交換がなされました。生活に密着した生の声を聞くことができ、大変有意義な会になりました。
- 今回の語る会でもよく検討し、市政に届けていきたいと考えています。

### 【主な質問内容】

## 振り込め詐欺に気をつけて!!

10月15日にタイヨー伊集院店とブラッセだいわ伊集院店前で、振り込め詐欺被害防止等キャンペーンが行われました。

市議会は昨年6月議会で「振り込め詐欺撲滅に関する決議」を行っており、市民の皆さんが振り込め詐欺の被害に遭わないために、警察や関係機関と連携し、市民と一体になって振り込め詐欺被害撲滅に向けた対策を推進しています。

全国的に振り込め詐欺の被害件数は減少しており、日置市では現在まで被害届けは出ていませんが、決して安心できません。手口は巧妙化していて、特にメールによる有料サイト利用料金名目詐欺が8割を占めています。

メールによる請求は詐欺の可能性が大きいです。相手には絶対に連絡してはいけません。



不審なメールが来たら、鹿児島県警のアドレス  
kp-sousa2@pref.kagoshima.lg.jpへ転送してください。  
また、警察総合相談窓口  
#9110または099-254-9110へお問い合わせください。

## 議会だよりの点訳を お願いしています。

市では、視覚障がい者の皆さんへ向け、市議会だよりの点訳版を作成しています。作成は点訳ボランティアグループ「点訳ひおき」へ依頼しており、平成11年度から活動を行っています。

「点訳ひおき」は点訳奉仕員養成講座を受講された方々で、現在13人が所属しており、ボランティアで点訳を行っています。

議会だよりの点訳作業は、メンバー4〜5人がパソコンの専用ソフトを使い、六点打ちという技法で、およそ1週間かけて作成・製本しています。

他にも、広報ひおきやお知らせ版、一般文書など、市が出している文書や資料の点訳版も作成しており、視覚障がい者の皆さんへさまざまな情報を伝える大切な作業をしていただいています。

現在、点訳奉仕員養成講座には21人が受講しており、興味を持って熱心に点訳を学んでいます。今後も、視覚障がい者の皆さんへ



点訳奉仕員養成講座の様子

## 議会広報編集委員会研修

～住民目線の議会だよりへ向けて～

9月2日、鹿児島市で開催された議会広報研修会（県町村議会議長会主催）に、広報編集委員会の委員全員で参加しました。

研修会では、熊本日日新聞社NIE（教育に新聞を）推進室長の越地真一郎氏の講演があり、議会だよりの発行に注意すべき点や心構えを学びました。

また、各市町村議会の議会だよりの良い点、悪い点を指摘していただき、今後の議会だよりの編集にアドバイスをいただきました。

市議会広報編集委員会でも、この研修会で学んだことを活かし、市民の皆さんが読みやすい、わかりやすい議会だよりの編集・発行に努めてまいりたいと考えています。

市議会だよりについてご意見・ご感想等がありましたら、議会事務局までお知らせください。

【主なアドバイス内容】

- ・住民目線の議会だよりを第一に考える。



- ・伝えたいことを重点的に掲載し、その他のものは勇気を持って省略することも必要。
- ・字の大きさやバランスを考える。
- ・写真と内容のバランスが大事。
- ・文字の色や、字体の工夫をする。
- ・グラフや表を活用し、読者が理解しやすい内容にする。
- ・専門用語は注釈等で説明を行う。

# 傍聴席から

住吉小学校PTA 追田 光代

9月17日、住吉小学校のPTA研修視察として、市議会を傍聴しました。最近、地方議会のあり方をマスコミで取り上げられている自治体がある中、私たちの市議会はどうかっているのだろうかという気持ちと、私自身、一度も議会を傍聴したことがなく、大変興味がありました。

傍聴席は2階部分で、下の階の議員と同じ向きなので、他の議員の方々の表情を拝見することはできませんでしたが、モニターに映る(質問されている)議員の表情は、本当に市民の立場になって下さっているな、と感じました。30分という限られた時間で、市長へ熱く質問をされていきました。時間があれば、まだ傍聴したいくらいでした。

質問通告書の中で、気になる質問だなと思いつつも、私の情報不足を痛感したものもありました。情報不足では、自分の声を上げることができません。市民が傍聴することは、情報を得る一つの手段だと思います。

傍聴者は、高齢者が中心でした。私たちの世代は子育てや仕事に忙しい日々を送っています。しかし、日置市がどうなっているのかを知るためにも、一度は議会を傍聴して欲しいなと思いました。

## あなたも、議会を傍聴してみませんか。

市議会は、市の予算や身近な問題について話し合う大切な場です。



### 是非、傍聴においでください。

- だれでも自由に傍聴できます。
- 受付簿に住所・氏名を記入していただくだけです。
- 本庁4階までお越しく下さい。

【問い合わせ】  
議会事務局 TEL 273-2111

### 市民のみなさん、市内の公共施設で議会中継を見ることができます!!

#### 次の場所で議会中継を行っております

市役所本庁1階ロビー、  
各支所1階ロビー、  
各地域中央公民館、各地区公民館、  
美山陶遊館、ゆすいん、  
日置市診療所、吹上砂丘荘

### 編集後記

紅葉の季節を迎え、地域ではスポーツ大会や文化行事、秋祭り等が、盛んに行われています。市内を歩いてみますと、秋桜が咲き、沈丁花も香りを放ち、みかんや柿が色づいています。一方、議会では9月定例会において慎重に補正予算が審議され、21年度決算も審議されました。大切な税金の使われ方を議会だよりでお伝えしています。今回は、傍聴にPTA等の皆さんがお越しく下さいました。市民の皆さんの身近な議会に、今後とも努めていきます。受付で住所、氏名を記入するだけで、傍聴ができますので、ご友人等と気軽にお誘いあわせて、お立ち寄りください。心よりお待ちしております。

〈黒田〉

#### 《発行責任》

議長 成田 浩

#### 《編集責任》

広報編集委員会

委員長 出水賢太郎  
副委員長 西園 典子  
委員 松尾 公裕  
中島 昭  
山口 初美  
黒田 澄子

〃 〃 〃